

平成29年11月24日(金)

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた
障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク
会長 久保厚子

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク

構成団体 (障害者団体等の27団体によりネットワークを構成) 会長 久保厚子(全国手をつなぐ育成会連合会 会長)

- ①(社福)日本身体障害者団体連合会 ②(公社)全国脊髄損傷者連合会 ③(社福)日本盲人会連合 ④(一財)全日本ろうあ連盟
⑤(一社)全国肢体不自由児者父母の会連合会 ⑥(社福)全国重症心身障害児(者)を守る会 ⑦全国手をつなぐ育成会連合会
⑧(公財)日本知的障害者福祉協会 ⑨(特非)全国地域生活支援ネットワーク ⑩(公社)全国精神保健福祉会連合会
⑪(一社)日本精神科看護協会 ⑫(一社)日本自閉症協会 ⑬(一社)日本発達障害ネットワーク ⑭全国社会就労センター協議会
⑮(特非)DPI日本会議 ⑯全国社会福祉法人経営者協議会 ⑰全国身体障害者施設協議会 ⑱(特非)日本相談支援専門員協会
⑲(一社)日本精神保健福祉事業連合 ⑳(一社)全国児童発達支援協議会 ㉑(一社)全国知的障害児者生活サポート協会
㉒(公財)日本ダウン症協会 ㉓(特非)バリアフリー映画研究会 ㉔(社福)全国盲ろう者協会 ㉕(社福)日本肢体不自由児協会
㉖(特非)手話ダンスYou&I ㉗(一社)全日本難聴者・中途失聴者団体連合会

【ネットワーク事務局 全国手をつなぐ育成会連合会 事務局長 田中正博 (全国手をつなぐ育成会連合会 統括)】

○文化芸術を架け橋に、全国で障害福祉に関わるさまざまな活動を続ける27団体(2017年7月28日現在)が連携
○平成28年度は、構成団体を対象にしたアンケートや発表の場づくり等の事業を実施。

文化庁委託事業「平成29年度戦略的芸術文化創造推進事業」
障害者の文化芸術国際交流事業

2017 ジャパン×ナント プロジェクト

10/19~25 フランス・ナント市

主催:文化庁、障害者の文化芸術国際交流事業実行委員会

ナント国際会議センター シテ・デ・コングレ、フランス国立現代芸術センター リュー・ユニック

後援:外務省 厚生労働省 全国知事会 全国市長会 全国町村会 協力:(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

—障害者の優れた芸術文化が総合的に紹介された初の試み—

我が国における障害者の優れた芸術活動を、世界中のあらゆる人々が感動を共感できる芸術として、日本から世界に向けて発信された。



日本のアール・ブリュット「KOMOREBI」展
出展者42名 総作品約900点 開幕から14日間の会期で14,550人が観覧(リュー・ユニック開館史上歴代2位の動員記録)

舞台芸術公演
障害者が出演する、和太鼓、石見神楽、コンテンポラリーダンス、演劇の公演。延べ11,000人が鑑賞

国際研究フォーラム
日仏の専門家総勢48名が登場。

「文化芸術推進基本計画(第1期)の策定に向けたこれまでの審議経過について」に対する意見

文化芸術を享受する立場としての障害者ということに留まらず、障害者の芸術文化は、創造と発展、継承も担うということについても記載すべき。具体的には、戦略3のみならず戦略4の中にも位置付けるべきだと考えます。